

---

# 細胞立体プリンター

普通のシー様（冷凍済み）

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

細胞立体プリンター

### 【Nコード】

N4003Q

### 【作者名】

普通のシー様（冷凍済み）

### 【あらすじ】

現在の印刷に使われるインクジェットとプリンタ、がノズルから出すインクの大きさは細胞と同じ大きさである。

現在の印刷に使われるインクジェットとプリンタ、がノズルから出すインクの大きさは細胞と同じ大きさである。

理論上、インクジェットプリンタの様に細胞を平面に出力OR印刷を何度も繰り返し替えて立体化複写すると人間が作れる。

不老不死を実現するには無くてはならない装置の一つになるかもしれない技術。

脳内のニューロンやシナプスの配列まで自分を忠実にコピーできたら自分を丸ごと生み出せる。

その、もう一人の自分に未来を生きて貰う。そして自分は安楽死する。

脳内のシナプスの配列がどんな配列になってるかを調べる技術の元も既にある

例えば、医療で使われる特殊なCTスキャンは、体を輪切りにした絵を白黒ではなくカラーで視覚化してくれる。

この技術が応用され、脳の輪切りをシナプスのサイズレベルまで細かくスキャンする装置が去年、開発された。これにより不活化技術へと一歩近づいた。

立体プリンター技術も頑張れば十分実現できる。

人間の細胞は約60兆個で、この一つ一つ全ての細胞に役割と違いがあり、同じ細胞が一つとして存在しない。

立体プリントするには理論上、60兆種の細胞を用意しなければ成らないのだが、この技術が無い。

この技術が完成されるならば8割くらいの不老技術を開発したと言える。

だが、この技術は比較的単純の仕組みで、人手が多く必要なだけであり、人材を集中させ皆で頑張れば5年くらいで開発できる。

つまり人類には5年あれば不老に必要な技術開発の8割は達成できてしまうのだ。

残りの2割は各個人の違いを識別して、違いを再現する事にあるが、この方法も簡単。

すっぱりと不老技術を諦めて昼寝すればいいのだ。

そうすれば不老不死が得られた夢が見られる

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4003q/>

---

細胞立体プリンター

2011年1月28日09時13分発行